

- 名 称 和歌川河川公園 噴水池の水を抜く！
- 目 的 綺麗で楽しい公園を目指して、噴水池の水を抜き大掃除を行う予定があるのでその前に、今どんな生物が生息しているか観察会を開催することで普段何気なく通り過ぎている池にも生物が存在していることを実感してもらい、河川公園をもっと身近に感じてもらうため。また今後どんな公園にすればもっと楽しいか話し合う機会となり、子供たちに自然環境を育む意識を育てる。
- 広 報 和歌川河川公園のHPにて告知  
近隣の小学校等にチラシを配布
- 日 時 2019年8月20日（火）
- 9：45 集合  
10：00 観察開始（学芸員説明含む）  
11：00 生物スケッチ開始  
11：45 額入りスケッチ受け渡し・解散
- 場 所 噴水池（ファミリーマート和歌山宇須店 向かい側）
- 実施内容 ①挨拶・本日の流れの説明  
②捕獲  
③観察（学芸員より説明あり）  
④全体休憩（飲み水の配布） ※イベント中休憩は各自自由  
⑤スケッチ（額縁にいれプレゼント）  
⑥最後の挨拶  
⑦集合写真
- 準備物 虫取り網、バケツ、たらい、火箸、エアーポンプ、画用紙、色ペン、額縁、手板、配布用飲み水、受付備品、案内板、救急セット 他
- 参加人数 こども 約30人、保護者 約25人
- 学芸員 揖 善継（和歌山県立自然博物館）
- 主催者 みんなでつくる和歌川河川公園の会
- 指定管理者 大揚興業株式会社  
一般社団法人クリエイターズ

## 実施内容の様子

### ①挨拶・本日の流れの説明

質問などを投げかけると元気よく手を上げたり、声を上げて答えてくれました。



### ②捕獲

学芸員が代表して池に入り生物を捕まえます。その様子を池のふちから子供たちが真剣に見つめています。生物が捕獲された時は集まって興味津々な様子。自分たちでも池のふちから網を使って捕獲。生物に夢中な様子が見て取れました。



### ③観察・学芸員より説明

捕まえた生物を観察。誰かが放流したとみられるカダヤシとメダカとミシシippアカミガメを捕獲。またヤゴも捕獲。池の周辺では赤とんぼやイトトンボも確認された。学芸員がメダカと特定外来生物であるカダヤシの違いを説明し、ペットの遺棄についても触れた。



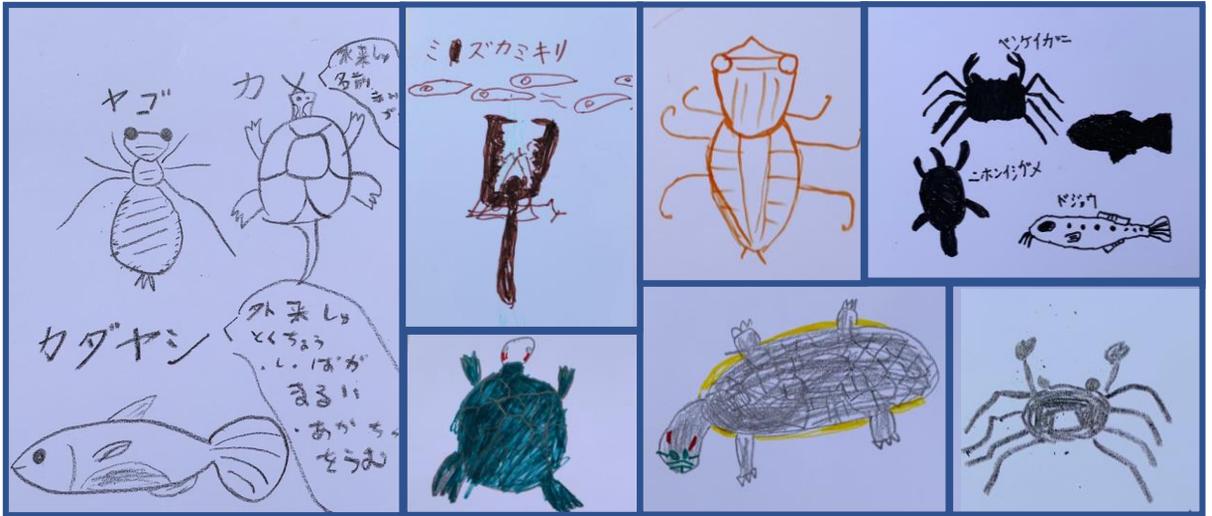
### ⑤スケッチ

今日捕獲した生物や、今後池にいてほしい生物など生き物をテーマに自由に描いてもらいました。今日実際に見た生物を描く子が多かったですが、カニの絵を複数の子が描いていたり他の生き物も人気でした。



## ○スケッチした絵

最後まで参加してくれた17名の絵を看板にし噴水池近くに掲示予定。



## ⑥最後の挨拶・⑦集合写真

今日学んだことや感じたことを振り返り最後の挨拶としました。描いた絵は額縁にいれ今日の記念に持ち帰ってもらい、最後には記念撮影をしました。捕まえた生物は最後に学芸員が池に帰しました。



## 所 感

前日台風のような大雨が降り、当日も雨の予報だった為、集まるか予測がつかないところではあったが当日は晴天となり、子供たちもたくさん集まってくれた。生き物が好きな子供たちが積極的に生物と触れ合うなかで、苦手な子も今日をきっかけに触れられるようになったとの声も聞け、きっかけをつくれたことは大変喜ばしいことであった。「もっとたくさんの種類の生物がいてと思った」との声もあったが、全体休憩中も飽きることなく生物に夢中な様子が印象的であった。今後はビオトープとして様々な人にとっての憩いの場となれるよう模索していく。

## 事前告知のチラシ

### 和歌川河川公園 噴水池の水を抜く！

#### 和歌山県立自然博物館 学芸員さん監修の元 噴水池の生物の観察会を行います。

今後、綺麗で楽しい公園を目指して  
池の水を抜き大掃除を行う予定があります。  
その前に、今どんな生物が生息しているか観察会を開催し  
今後自然の虫たちは、どんな池にすれば  
生息しやすく、沢山集まるのか一緒に考えてね！

日時：8月20日(火) 9:45集合 10時開始 12時前終了予定  
場所：噴水池(ファミリーマート向側)  
車でお越しの場合は公園駐車場をご利用ください。

※前回の調査では、メダカやヤゴが確認されました。他に何が居るかな？  
当日、曇りが予想されますので熱中症対策はくれぐれもお願いします。



こちらで準備している物

- ・虫網
- ・飲み水(500mlペット)

準備自由な物

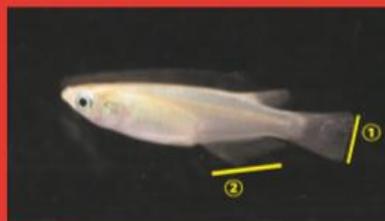
- ・虫かごやバケツ等 他

みんなで作る和歌川河川公園の会  
和歌川河川公園管理事務所 TEL:073-446-4664

## 当日配布した資料

### メダカとカダヤシの見分けかた

メダカ (ミナミメダカ) 絶滅危惧Ⅱ類 (環境省)



- ①尾びれの後ろがまっすぐで
- ②しりびれの付け根が長い
- ③卵をうむ

日本に昔からいる魚。最近、メダカはキタノメダカとミナミメダカの2種類に分かれた。  
和歌山にいるのはミナミメダカ。  
同じミナミメダカであっても、それぞれの川オリジナルのDNAを持っているので、  
混った場所と違うところに気難に放流してはいけません。

### カダヤシ 特定外来生物



- ①尾びれの後ろがまるい
- ②しりびれの付け根が短い
- ③赤ちゃんをうむ

北アメリカ原産の外来種。  
法律で、許可なく生きたまま移動させたり、飼育してはいけないことになっている。  
\*罰金はかなり高い！  
メダカのすんでいた場所に入ると、メダカの代わりに増えてしまい、メダカがすめなくなってしまう。

和歌山県立自然博物館